

Visual Basic NET



最終回 テキストボックス活用法

西田 雅昭

NISHIDA, Masaaki

Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:

Level



Samples

・この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、付録CD-ROMの¥DOTNET¥TUBOディレクトリに収録しています。

¥TEXTBOXTEST
テキストボックスの機能実験プログラム

前回まで2回にわたってフォームの使い方を紹介いたしました。今回で連載の区切りということなので、ユーザーインターフェイスとして、もっともよく使われる、テキストボックスの使い方を紹介することにします。



テキストボックスの 使い方

「テキストボックスは簡単なコントロールで、使い方なんて誰でも知っている」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、VB.NETでは、テキストボックスは多彩な機能を持っているにもかかわらず、その機能のほとんどがあまり使われていません。

ただ、これらの機能を文章で説明するのは結構大変です。そこで、私が他社で執筆いたしました書籍に載せたプログラムを、出版社のご好意により転載させていただくことにしました。このプログラムは、操作するだけで、体感的に、テキストボックスの複雑な機能を理解するためのものです。ソースコードで提供いたしますから、いろいろ参考にしてください。

●プログラムの説明

付録CD-ROMのTextBoxTestフォルダにある「TextBoxTest.sln」をダブルクリックしてください。プログラムを実行すると、左上の「実験用テキストボックス」(オブジェクト名はtxtTest)の上でカーソルがチカチカしています。すぐ右に青色の「テキストを入力してください」という表示があります(図1)。

このプログラムでは、ここに何か文字を入力し、フォーム上のボタンやラジオボタン、チェックボックスなどを操作して、テキストボックスの機能を目で見て確認するようになっています。操作のボタンやラジオボタン、チェックボックスは、「Text」プロパティを、原則としてメンバ名にしています。

それぞれの機能の使い方を調べる際には、基本的にそのコントロールの「Click」イベントハンドラを見ていただ

けば理解できます (コードがわかりやすくなるように、意識的に冗長なコードにしています)。

今回は、このプログラムを使いながら、テキストボックスの便利な機能について見ていくことにします。

操作の解説を表示する

[Tab] キーもしくはマウスで、テキストボックスからフォーカスが離れると、表示が「テキストボックスの実験」に変わります。テキストボックスにフォーカスを戻すと、また表示が「テキストを入力してください」に変わります。

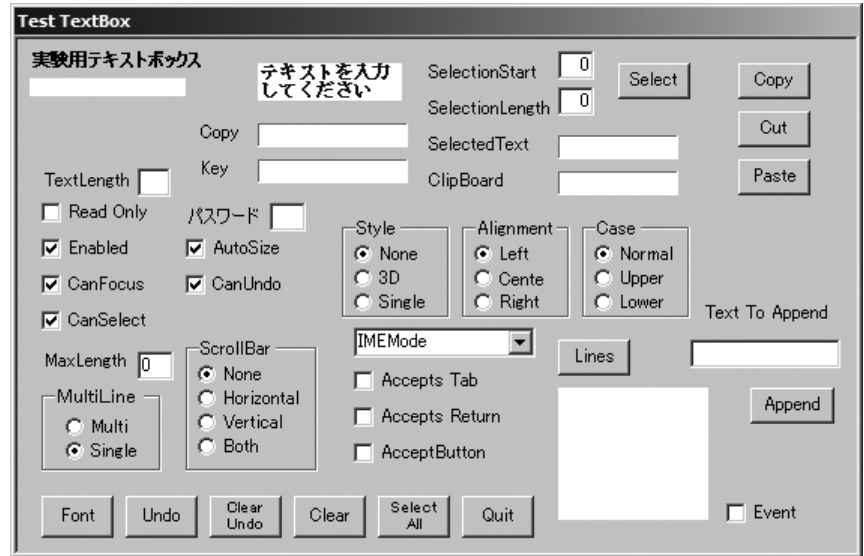
面白いでしょう。カーソルやマウスポインタの位置で表示を制御できるのです。私は、この機能を、ユーザーに対する操作の指示に使っています。私は、カスタムソフトには、厚い操作説明書をつけるべきではないと思っていますので、この機能は必須です。

このプログラムでは、以下のようなテキストボックスのイベントハンドラに処理を記述しています。

イベント	内容
Enter	入力フォーカスが当たる
Leave	入力フォーカスが離れる
MouseEnter	マウスポインタがテキストボックス上に移動する
MouseLeave	マウスポインタがテキストボックスを離れる

なお、「GotFocus」イベントや「LostFocus」イベントは使わないように気をつけてください。この2つのイベントは、うまく動作しない場合があります。

図1：TextBoxTestプログラムの起動画面



テキストボックスの見栄え

●外観を変更する

まず、中央の「Style」グループボックスの中のラジオボタンで選択してください。これは「BorderStyle」プロパティの設定です。左上の「実験用テキストボックス (txtTest)」の外観が変わることがおわかりになったと思います。このプロパティの既定値は「Fixed3D」です。

コードで指定する際には、「BorderStyle.FixedSingle」のように、列挙値の名前を添えて記述しなければなりません。でも安心してください。「txttest.borderstyle=」と記述した瞬間に一覧が出ますから、ただ選択するだけで済みます。

●文字の位置

ここで「実験用テキストボックス」に「Friday」と入力してください。そして、

図2：文字を右揃え (Right) に設定



図3：文字を中央揃え (Centre) で大文字 (Upper) に変更



「Alignment」グループボックスの中のラジオボタンを選択すると、テキストボックスの中の文字の位置が変わります。これは「TextAlign」プロパティの設定です。数字の入力の際など「Right」にしておくと、電卓のようで、格好がよいですね (図2)。既定値は「Left」です。

●大文字と小文字

次は「Case」グループボックスです。これは「CharacterCasing」プロパティの設定です。現在は、デフォルトの「Normal」になっています。「Upper」に